



高橋徹郎専務

## ユーザーの選択肢を広げたい 揺動切削技術を訴求

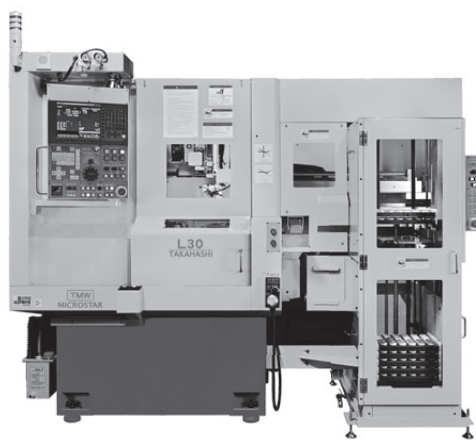
タカハシキカイ(高橋徹社長)は、小型のNC旋盤や自動化装置を開発する。メインのユーザーは自動車産業で、カメラレンズなど光学部品向けの受注も多い。高橋徹郎専務は「例年コンスタントに注文はあるが、昨年は更新需要でまとまった受注があった。市場はそれほど大きくはないが、レンズの単価も上がっており今後も継続的な受注を見込める」と話す。

自動車業界は「設備投資には慎重な姿勢で、新規設備の導入より既設機の改造で対応するケースが増えている」という。電気自動車(EV)やハイブリッド車など次世代車向けに生

産体制が移行するのに備え、情報収集に努めている。また海外からの受注は、中国の景気停滞があるものの一定の水準を保っている。

MECT2023では並行2スピンドルターニングセンタ「マイクロスターWT50」などを出展し、特に揺動切削技術に注目が集まった。工具を切削方向に細かく動かし、切りくずを分断しながら加工できる。同機能を採用する企業も増えており、現場では切りくずに起因するトラブルが減少したと好評を得ている。高橋専務は「揺動切削は条件設定が難しく、調整に苦勞することもあるが、機能すれば非常に有効」と胸を張る。

JIMTOF2024ではブースに標準機を設置するだけでなく、搬送装置などと組み合わせることでより現場に近い見せ方をする。また同社のベストセラー機種「マイクロスターL30」の派生機種を開発中という。スライドなど構造の改良に加え、揺動切削技術をオプションで搭載できるようにする。「ユーザーの選択肢が広がるよう開発に取り組んでいる。機種を拡充し、今後は新規顧客の開拓も狙う」と展望を口にする。



JIMTOF2024で展示する「マイクロスターL30-NCL」

### 会社紹介

## 生産現場の自動化に貢献

1955年創業で、社員は約100人。小型精密NC旋盤や自動化装置を製造する。大手メーカーにはない機械や自動化装置、きめ細かいメンテナンスサービスなどを得意とし、自動車産業や電気・電子産業向けに広く顧客を獲得している。中国や東南アジア、欧州にも販路を持つ。

問い合わせ先

〒947-8506  
新潟県小千谷市山谷新保4-11  
Tel.0258-82-4315

